

# 起業家教育プログラムの具体的なイメージ

(参考)

## 目的

起業家教育を通じて創業希望者を社会に輩出することにより、将来の開業率の上昇に繋げる。

- 起業家教育の主な目的は、起業家マインドの養成と、創業に対する明確なイメージを与えることの2点。
- 起業家マインドとは、周囲に依存せずに自らの人生は自分自身が設計するという意識と、社会的課題を敏感に把握して率先して解決しようとする姿勢を指す。「人生100年時代」を生きる現代人にとって不可欠な素養でもある。

## 内容

自己と社会の分析を通じて、自分の関心領域と合致する社会的課題を発見（STEP1・2）。それを解決するビジネスアイデアを具体化・発信し、専門家からの評価を得る。（STEP3・4）。

- 創業の流れを疑似体験することにより、社会に生きる当事者としての想いを具現化することの意義と、その手段として創業があることを学ぶ。（それが起業家教育の上記目的の実現に繋がる）
- STEP1は実は重要。創業者は必ず障害に突き当たるが、人生に立脚した動機づけが無い限り、乗り越えることが困難。
- プログラムの中で、先輩創業者とコミュニケーションを図る機会も設けることにより、創業への理解を更に深めさせる。
- プログラム全体として、20時間程度を想定（日数や形式等は実施先と相談のうえ決定）。

### 概要

### 具体的活動

|       | STEP1（個人）：<br>自分の動機の棚卸し  | STEP2（グループ）：<br>地域課題の探索   | STEP3（グループ）：<br>アイデアの具体化  | STEP4（グループ）：<br>アイデアの発信   |
|-------|--|---|---|---|
| 概要    | 自己分析を通じて、自分は何がやりたいか？何に喜びを感じるのか？それはなぜか？を掘り下げる。  | 自分の動機に紐づく関心領域を特定。それを踏まえて、現実の地域社会を題材に課題調査をする。  | ビジネスアイデアの具体化、試作品の製作を行うと共に、顧客にぶつけることで仮説検証を行う。  | ビジネスアイデアを発表／発信し、専門家からの評価を受ける。最後に振り返りを行い、行動変革に繋げる。   |
| 具体的活動 | <ul style="list-style-type: none"><li>● 経験の棚卸し</li><li>● 相互インタビュー</li><li>● 先輩創業者とのコミュニケーション（人生のモデル事例から学ぶ）</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 現場視察、インタビューなどのフィールドワーク</li><li>● インターネット等を活用した調査・分析</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 「誰に」「何を」「どうやって」届けるのかを具体化する</li><li>● 試作品を製作し、顧客の反応を見る</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● ビジネスプランコンテストでの発表・評価</li><li>● 商品の模擬販売</li><li>● 活動を振り返り、今後の目標を明確化する</li></ul> |

※社会経験のない若年層にはSTEP2の比重を重くする一方、社会人・シニアにはSTEP1を重くして、STEP2を軽くする等の調整はあり